



# 藤本 みのる 通信

Vol 334

2019年12月18日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

## 南北自由通路について厳しく追及

一般質問で、大月駅南北自由通路の概算費用を示すよう求めましたが、類似例を含めて、JRとの協議前なので「金額は差し控える」という答弁でした。

私の調べでは、単独型自由通路でも類似例で 20 億円。『業務報告書』が「最も有利と考えられる」とした半橋上駅舎型自由通路は類似例 35 億円です。実は、当初私は自由通路賛成だったのですが、事業費を調べて考えを改めました。市議会や市民に金額を明かさず、JRと協議し、引き返せなくなったら大変だという思いが強くなります。

小林市長は「現在、厳しい財政状況ではありますが、事業の規模や費用の調整を図ることで、大月駅周辺の整備を進めることが可能であると判断し、事業の実施に向けて作業をしているところであります」と述べながら、最後まで自由通路の許容金額を言いませんでした。私は、自由通路整備費用の上限は 7 億円だと思います。理由は市道大月賑岡線の拡幅への国補助金が 7 億円だからです。自由通路をやめれば国補助金を受けられなくなる可能性があります。大月駅北側周辺整備事業は 15 億円でおさめることができます。自由通路にこだわって、20～35 億円も事業費を拡大させることは財政健全化と相いれません。今後切実な市民要求の予算すら、削ることになるのは目に見えます。

## 大月駅北側周辺整備事業経過

- ・平成 24 年 7 月（石井市長）  
今後における市民サービスの優先順位を考える中、JR東日本と協議し、合意が得られたことから、凍結した事業の執行停止（南北自由通路、橋上駅舎化、北口駅前広場の建設の執行を停止）する協定を新たに締結
- ・平成 24 年度中  
県市職員による勉強会発足—計画を中止した事業以外に、南北の連絡と一体化をどう図るかについて、その実現に必要な整備手法、概算費用等の検討  
しかし、JRとの協議進展せず
- ・令和元年 8 月（小林市長就任）  
JR東日本が大月市に半橋上駅舎型自由通路を提案。小林市長が「自由通路の整備方法について、想定される課題を排除することなく、それぞれのケースを検討することは必要である」と応じる状況に

## 【藤本みのる活動日誌】

12月16日(月) 一般質問、消防団防犯防火診断実施

12月19日(木) 12月市議会定例会本会議(閉会)